様式イ（20260801）

FDG-PET 検査［予約申込書］

浜松 PET 診断センター 宛	**TEL：053-585-0366** **FAX：053-585-0367** **〒434-0041 浜松市浜名区平口 5000**

① お電話にてお問合せください。

② FAX にて予約申込書（様式イ）、診療情報提供書（様式ロ）をご送信ください。

③ 原本を検査結果や画像データ※と合わせてご郵送ください。
※悪性腫瘍の場合、３か月以内に実施されたがんと診断した根拠となる検査結果や画像データが必要です。

予約申込日	年　月　日（　）		
医療機関名		所在地	
診療科		TEL	
担当医		FAX	

▼予約情報

検査予定日	年　月　日（　）	受付時間	時　分
対象疾患	てんかん ／ 心疾患 ／ 悪性腫瘍 ／ 大型血管炎		

▼患者情報

フリガナ		生年月日	年　月　日（　歳）				
氏名		性別		身長	cm	体重	kg
住所				TEL			
-保険証情報-							
保険者番号		記号				枝番	
		番号					
※お分かりになる範囲でご記入ください。		区分	本人 ／ 家族	負担	1 割 ／ 2 割 ／3 割		
- その他（該当する場合）-							
市町村番号		受給者番号					

※ 受診者都合による検査のキャンセルは、所定のキャンセル料が発生する旨、ご本人・ご家族の同意を得た上でお申し込み下さい。

一般財団法人 浜松光医学財団
浜松PET診断センター
〒434-0041 浜松市浜名区平口 5000 番地
TEL:053-585-0366 FAX:053-585-0367
公式サイト： https://www.hmp.or.jp E-MAIL： petyoyaku@hmp.or.jp

様式ロ（20241113）

FDG-PET 検査［診療情報提供書］

患者氏名		生年月日	年　　月　　日（　　歳）

▼診療情報

診断名			
保険適用要件確認	てんかん	□難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる場合。	
	心疾患	□心サルコイドーシスの診断（心臓以外で類上皮細胞肉芽腫が陽性でサルコイドーシスと診断され、かつ心臓病変を疑う心電図又は心エコー所見を認める場合に限る。）又は心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる場合。	
	悪性腫瘍	□他の検査又は画像診断により病期診断又は転移若しくは再発の診断が確定できない場合。（他検査を伴わない「疑い」は適用外となります。）	
		確認	□病理診断による悪性腫瘍の確定診断あり
			□確定診断はないが、臨床上高い蓋然性を持って診断
		目的	□病期診断　□転移探索　□再発診断 □悪性リンパ腫の治療効果判定　□原発不明癌の原発巣探索
	大型血管炎	□高安動脈炎等の大型血管炎において、他の検査で病変の局在又は活動性の判断のつかない場合。（不明熱の鑑別診断や疑い症例での診断目的の検査は適用になりません。）	
他検査内容	検査：		時期：　　年　　月
	検査：		時期：　　年　　月
臨床情報	臨床経過・検査依頼目的・撮像方法の指示等		

手術歴	□無　□有　（　　）				
ペースメーカー	□無　□有	人工関節	□無　□有	閉所恐怖症	□無　□有
20 分臥床	□可　□不可	アレルギー	□無　□有　（　　）		
糖尿病	□無　□有（空腹時血糖：　　mg/dl）→ 服薬 □無 □有 ／ インスリン注射 □無 □有 **※空腹時血糖値は 200mg/dl 以下が望ましい**				
介助等	□車いす　□ストレッチャー　□移動介助				
その他					

一般財団法人 浜松光医学財団
浜松PET診断センター
〒434-0041　浜松市浜名区平口 5000 番地
TEL:053-585-0366　FAX:053-585-0367
公式サイト：　https://www.hmp.or.jp　E-MAIL：　petyoyaku@hmp.or.jp

様式ハ（20260801）

FDG-PET 検査［予約案内］

検査予定日に来院できない時や、お問い合わせの際は以下の電話番号にご連絡ください。
やむを得ない事情（災害等）を除き、検査予定日の１営業日前以降のキャンセルは、キャンセル料（10 万円）をご負担いただきます。

TEL：053-585-0366

様	内容をご確認のうえ、 検査当日、本状を受付にご提示ください。

検査日	受付時間
年　　月　　日（　　）	時　　分

検査施設	浜松 PET 診断センター（検診部） 〒433-0041　静岡県浜松市浜名区平口 5000 番地　[浜松ホトニクス中央研究所敷地内]

検査当日にご持参いただくもの	
● FDG-PET 検査［予約案内］	この紙をご持参ください。
● マイナ保険証（マイナンバーカード）	お持ちでない方は資格確認書等
● 検査費用　　約　　円	**※現金またはクレジットカードで当日のお支払いとなります。**

※検査費用は自己負担３割で約３万円です。負担割合によって異なります。

注意事項	● **検査前日から**ジョギング・水泳などの運動やマッサージなど、筋肉を刺激する行為はお控え下さい。	
	□てんかん □悪性腫瘍 □大型血管炎	● **検査当日の受付４時間前まで**に食事を済ませ、以降は**糖分を含まない**水・ウーロン茶・日本茶による水分補給のみとしてください。
	□心サルコイドーシス	● **検査前日 14:00 以降は糖質制限食とし、夕食は 20 時までにとってください。**その後も**糖分を含まない**水・ウーロン茶・日本茶による水分補給のみとし、当日の**朝食・昼食は抜いて**ください。**（別紙「心サルコイドーシス　食事制限の案内」をご参照ください。）**

※上記の注意事項が守られていない場合、検査を実施できない場合がございます。

●その他ご案内事項

- 検査実施に際して介助が必要な場合、**ご家族の方の付き添い（１名）**をお願いしております。
- 所要時間は全体で約３時間ですが、**終了時間が１時間ほど遅くなる場合がございます**のでご承知おきください。
- 検査費用は実施内容、負担割合により変動する場合がございます。
- 以下に当てはまる方はあらかじめ**主治医にご相談ください。**

□ 糖尿病の治療中の方　　□ 狭いところが苦手な方
□ 注射で気分が悪くなったことがある方　　□ 妊娠中または妊娠の可能性がある方
□ 授乳中の方

一般財団法人 浜松光医学財団
浜松PET診断センター
〒434-0041　浜松市浜名区平口 5000 番地
TEL:053-585-0366　FAX:053-585-0367
公式サイト：　https://www.hmp.or.jp　E-MAIL：　petyoyaku@hmp.or.jp

様式ニ（20241113）

FDG-PET 検査［概要］

●FDG-PET 検査とは

FDG-PET 検査は FDG（ブドウ糖に放射性フッ素で目印を付けたくすり）を静脈から注射で体内に入れることで、**体内でのブドウ糖代謝の様子を調べる**検査です。FDG はブドウ糖をエネルギーとして多く消費している組織に集積するため、がん細胞や炎症を起こしている細胞、脳機能をみるために使用されます。X 線 CT 検査や MRI 検査のように形態をみるのではなく、機能や活動性をみられることが特長です。

●検査の目的

□てんかん てんかんの焦点（異常な電気活動が生じる場所）を診断することが可能です。てんかん発作間歇期には焦点とその周辺で糖代謝が低下することが分かっており、FDG の集積が低下するため、焦点の診断に有用とされています。特に側頭葉てんかんの焦点検出率は 90%程度と脳血流 SPECT に比べ高いとされています。外科切除の部位を特定するため、他の画像検査等と組み合わせて実施されます。
□悪性腫瘍 治療前のがんの有無や広がり、多臓器への転移の有無を調べたり、治療中の効果判定や治療後の再発を確認したりする目的で実施されます。
□大型血管炎 大型血管炎における炎症の活動性評価をすることができ、炎症の局所診断（場所の特定）や治療効果判定、再燃疑いの診断などに実施されます。血管炎では炎症を伴う病変がみられることから、FDG が集積するため、炎症の活動性を定量的に評価することができます。高安動脈炎、巨細胞性動脈炎を診断する能力が非常に高く、他の画像検査等では困難な局在診断が可能です。
□心サルコイドーシス サルコイドーシスの心臓への浸潤やそれに伴う炎症部位を早期に診断することを目的に実施されます。炎症を起こしている細胞は正常細胞に比べ、多くの FDG を取り込むため、炎症部位の診断が可能で、血液検査、心筋生検、MRI 検査に比べ、診断能が高いと考えられています。ただし、正常の心臓の細胞もブドウ糖を利用することから、FDG が集まるため、正常な心臓の細胞への FDG 取り込みをなるべく抑え、サルコイドーシスの病変部位を際立たせることが必要となります。**精度の高い検査の実現には食事のコントロールがとても重要となりますので、ご協力をお願いいたします。**

●被ばくについて

PET-CT 装置で撮影します。PET 検査と CT 検査を実施することで合計約 8 ～12mSv（ミリシーベルト）の被ばくを伴います。**ごく微量の被ばくのため、人体への影響はほとんどない**と考えられています。なお、検査後しばらくは体内から微量な放射線が発生しておりますので、注射後 6 時間程度は**妊婦や乳幼児への接触をできるだけ避けてください。**

●副作用について

FDG-PET 検査で用いる薬剤はブドウ糖に似た成分のため、**副反応が起こることは稀**です。

●検査の流れ

1．受付/検査説明・同意/問診　：健康状態や食事・運動制限が守られているかを確認します。
2．更衣　：検査着に着替えていただきます。
3．検査薬の静脈注射　：FDG を静脈注射で体内に投与します。
4．安静　：FDG が体内にいき渡るまで約 1 時間安静に待機します。
5．PET-CT 撮影　：ベッドの上に横になり、20～45 分間撮影します。
6．更衣/会計　：着替え後、受付にて会計をお願いします。

一般財団法人 浜松光医学財団
浜松PET診断センター
〒434-0041 浜松市浜名区平口 5000 番地
TEL:053-585-0366 FAX:053-585-0367
公式サイト： https://www.hmp.or.jp E-MAIL： petyoyaku@hmp.or.jp

様式ホ（20241113）

心サルコイドーシス　FDG-PET検査【食事制限に関するご案内】

心サルコイドーシスのFDG-PET検査では、心臓細胞の病変を精度高く診断するため、**食事のコントロールがとても重要**となりますので、ご協力をお願いします。なお、**主治医から指示がある場合にはそちらに従ってください。**

● 検査前日より、以下の食事制限を厳守していただきますようお願いします。

検査前日 14:00～20:00		検査前日 20:00～検査まで	
通常の食事	糖分・炭水化物制限	絶食 無糖の水、お茶のみ	検査

※服薬に関しては主治医にご確認ください

● 糖質・炭水化物制限中の食事について

！調味料にご注意ください

OK　食べても良い食品

飲料	：水、お茶
野菜	：キャベツ、レタス、ほうれん草 白菜、ブロッコリー、ピーマン、キュウリ
その他	：卵、肉、魚、チーズ、バター（糖分を含まないもの） 豆腐（絹・木綿）
調味料	：塩、コショウ、醤油、マヨネーズ、サラダ油、オリーブ油

NG　食べてはいけない食品

飲料	：甘い飲料、ジュース、甘酒
野菜	：人参、トマト、カボチャ、トウモロコシなど糖分の多い野菜
その他	：果物、菓子類、穀物類、 ご飯、パン、芋、麺類（そば、うどん、ラーメンなど） 唐揚げ、フライなどの加工食品
調味料	：酒、みりん、焼き肉のたれ、ソース、ケチャップなど

一般財団法人 浜松光医学財団
浜松PET診断センター
〒434-0041　浜松市浜名区平口 5000 番地
TEL:053-585-0366　FAX:053-585-0367
公式サイト：　https://www.hmp.or.jp　E-MAIL：　petyoyaku@hmp.or.jp

FDG-PET 検査［保険適用要件］

^{18}F-FDG を用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（PET-CT 検査）は、下記の表に定める要件を満たす場合に限り適用されます。ただし、表中の「画像診断」からはコンピューター断層撮影（X 線 CT 検査）に係わるものを除きます。

てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる場合。
心疾患※1	1. 虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアビリティ診断が必要とされ、かつ他の検査で判断のつかない場合。※2 2. 心サルコイドーシスの診断（心臓以外で類上皮細胞肉芽腫が陽性でサルコイドーシスと診断され、かつ心臓病変を疑う心電図又は心エコー所見を認める場合に限る。）又は心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる場合。
悪性腫瘍 （早期胃癌を除き、悪性リンパ腫を含む。）	他の検査又は画像診断により病期診断又は転移若しくは再発の診断が確定できない場合。
高安動脈炎等の大型血管炎	他の検査で病変の局在又は活動性の判断のつかない場合。※3

※1 心疾患はポジトロン断層撮影（PET 検査）として適用されます。
※2 当センターでは対応しておりません。
※3 不明熱の鑑別診断や疑い症例での診断目的の検査は適用になりません。

浜松 PET 診断センターでは、日本核医学会「FDG PET・PET/CT 診療ガイドライン」に則り、下記の症例の患者および検査目的を保険適用範囲としています。

悪性腫瘍（早期胃癌を除き、悪性リンパ腫を含む。）の保険適用症例
● 病理組織学的に悪性腫瘍と確認されている方。 ● 病理診断では悪性腫瘍であると確定できないが、臨床病歴、身体所見、PET または PET/CT 以外の画像診断所見、腫瘍マーカー、臨床的経過観察などから、臨床的に高いがい然性をもって悪性腫瘍と診断される方。
保険適用となる、悪性腫瘍の検査目的
● 治療前の病期診断として ● 二段階治療を施行中で、第一段階治療完了後の第二段階治療方針決定のために病期診断が必要な場合。 ● 転移・再発が疑われる臨床的徴候や検査所見がある場合の、診断のため。 ● 手術や放射線治療などによる変形、瘢痕（はんこん）などのため、他の方法では再発の有無が確認困難な場合。 ● 経過観察などにより治療が有効と思われるにもかかわらず他の画像診断等で腫瘤が確認されており、腫瘍が残存しているのか、肉芽・線維などの非腫瘍組織による残存腫瘤なのかを鑑別する必要がある場合。 ● 悪性リンパ腫の治療効果判定

※ 場合によって保険適用外となることがありますので、あらかじめご了承ください。
※ 転移・再発診断の場合、必ず「転移を疑う」や「再発を疑う」という言葉を記載してください。

●悪性腫瘍の PET 検査における保険適用一覧

疾患	鑑別診断	病期診断	転移・再発の診断	原発巣の検索
肺癌、乳癌、大腸癌、頭頸部癌、転移性肝癌	×	○	○	×
膵癌	○（膵癌と腫瘤形成性膵炎との鑑別）	○	○	×
原発不明癌	—	○	○	○
その他の悪性腫瘍（早期胃がんを除く）	×	○	○	×

一般財団法人 浜松光医学財団
浜松PET診断センター
〒434-0041 浜松市浜名区平口 5000 番地
TEL:053-585-0366 FAX:053-585-0367
公式サイト： https://www.hmp.or.jp E-MAIL： petyoyaku@hmp.or.jp